

平成30年9月4日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

長期使用の扇風機についての注意喚起、電気冷蔵庫に関する事故(リコール対象製品)について

(詳細は次頁以降参照。)

- | | |
|--|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
(うち屋外式(RF式)ガス瞬間湯沸器(LPガス用)1件) | 1件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
(うち扇風機2件、電気冷蔵庫1件、温水洗浄便座1件、
冷風機1件、リチウム蓄電池1件) | 6件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
(うちスピーカー(天井埋込式)1件、
システムキッチン(吊り戸棚)1件、エアコン1件) | 3件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件なし | |

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 三洋電機株式会社が製造し、株式会社全日電チェーンが販売した長期使用の扇風機についての注意喚起(使用中止) (管理番号：A201800317)

①事象について

三洋電機株式会社（法人番号：1120001155854）が製造し、株式会社全日電チェーンが販売した扇風機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

※当該製品は長期使用（45年以上）された製品

②使用者への注意喚起

長期使用の古い扇風機は、モーター、コード、コンデンサー等の電気部品の経年劣化により出火に至るおそれがあります。

御使用の際に、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから外して、製造事業者等に御相談ください。

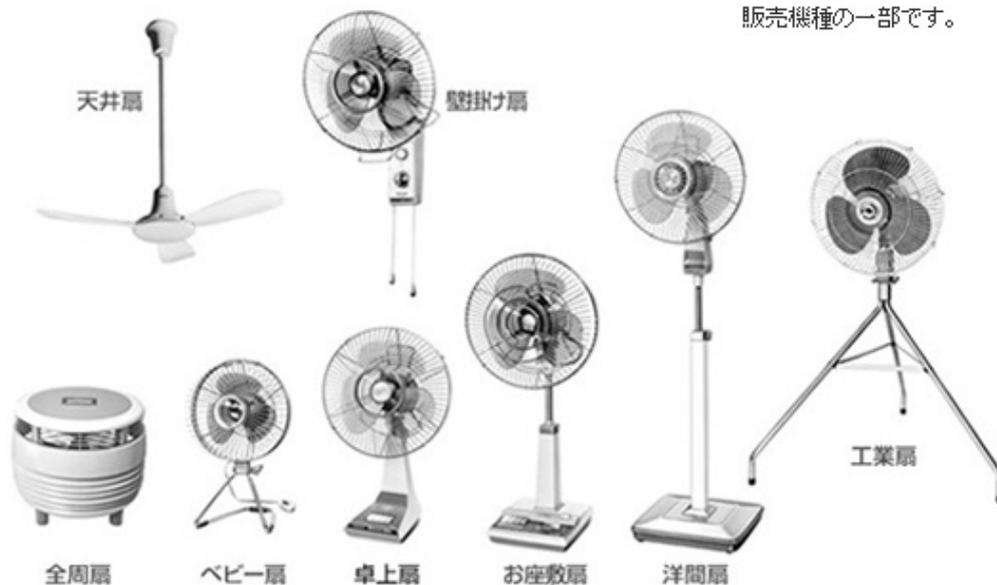


- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、ファンが回ったり回らなかったりと動きが不安定である。

また、扇風機を使用していないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。古い扇風機では、電源が入っているにもかかわらず、ファンが回っていないことでスイッチが「切」の状態になっていると誤認することがあり、そのまま放置すると出火に至るおそれがありますので御注意ください。

同社は、2007年（平成19年）8月24日から「長年ご使用の扇風機についてのお知らせとお願い」（最終改訂：2012年6月12日）としてウェブサイトにて注意事項を掲載し、1977年（昭和52年）以前に販売した扇風機の使用の中止及びそれ以降の製品であっても不具合がある場合には使用を中止するよう呼び掛けています。

※写真は1977年（昭和52年）以前の販売機種の一部です。



【問合せ先】

三洋電機株式会社 扇風機相談室

電話番号：0120-34-0979

受付時間：9時～17時（土日祝日・事業者休日を除く。）

ウェブサイト：http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080430.html

③消費者庁及び独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の注意喚起

・消費者庁

「扇風機等の家電製品の経年劣化事故に御注意ください」（2016年6月14日公表）

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/160614kouhyou_1.pdf

・独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

「扇風機やエアコンの思わぬ火災を防ぐには？～古い扇風機や、エアコンの電源コードに注意～」
（2018年6月28日公表）

ウェブサイト：<https://www.nite.go.jp/data/000091549.pdf>

(参考)

長期使用の扇風機について注意喚起を行っている主な製造事業者及び問合せ先

ブランド名	製造事業者名	URL/問合せ先
SANYO 新日本電気 ゼネラル	三洋電機株式会社	http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080430.html 扇風機相談室 電話番号:0120-34-0979 受付時間:9:00~17:00(土日祝日・事業者休日を除く。) ※ 同社では、昭和52年以前の扇風機について、使用の中止を呼び掛けています。次のURLで昭和52年以前の販売機種か否かがチェックできます。 http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/search.html <次の事業者でも注意喚起を行っています。> 日本電気株式会社 http://www.nec.co.jp/news/info/20070824.html 株式会社富士通ゼネラル http://www.fujitsu-general.com/jp/i_info/fan/
SHARP	シャープ株式会社	http://www.sharp.co.jp/support/safety/fan_info.html お客様相談センター 電話番号:0120-078-178(固定電話、PHS) 0570-550-449(携帯電話) 受付時間:月曜~土曜:9:00~18:00 日曜・祝日:9:00~17:00 (年末年始を除く。)
TOSHIBA	東京芝浦電気株式会社 (現 東芝ホームテクノ株式会社)	https://www.toshiba-tht.co.jp/info/070907_j.htm 東芝生活家電ご相談センター 電話番号:0120-1048-76 0570-0570-33(携帯電話、PHS) 受付時間:月曜~土曜:9:00~18:00 日曜・祝日:9:00~17:00
National	松下精工株式会社 (現 パナソニックエコシステムズ株式会社)	http://panasonic.co.jp/es/peses/info/important/e-fan.html 扇風機ご使用相談窓口 電話番号:0120-880-107 受付時間:9:00~17:00(土日祝日・事業者休日を除く。)
HITACHI	株式会社日立製作所 (現 日立アプライアンス株式会社)	http://kadenfan.hitachi.co.jp/lng_hyoji/elfan/index.html 日立長期使用家電品相談窓口 電話番号:0120-3121-11 050-3155-1111(携帯電話、PHS) 受付時間:月曜~土曜:9:00~17:30 日曜・祝日:9:00~17:00 (年末年始を除く。)
富士電機 Fuji Electric	富士電機株式会社	http://www.fujielectric.co.jp/contact/index_fan.html 広報IR部広報課 電話番号:0120-12-6504(携帯電話、PHS利用可) 受付時間:9:00~17:00(土日祝日を除く。) 同時間帯以外でお急ぎの方 電話番号:0120-24-9277
mitsubishi	三菱電機株式会社	http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/naganen_kaden/kisyu01.html 問合せ窓口 電話番号:0120-490-499 受付時間:9:00~17:30(土日祝日・事業者休日を除く。)
森田電工 MORITA	森田電工株式会社 (現 株式会社ユーイング)	http://www.uing.u-tc.co.jp/anounce/doc/a07091201.html 問合せ窓口 電話番号:0120-911-597 受付時間:9:00~17:00(土日祝日・事業者休日を除く。)

(2) シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫について（管理番号：A201800318）

①事象について

シャープ株式会社（法人番号：6120001005484）が製造した電気冷蔵庫を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償点検・部品交換）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、当該製品のコンプレッサー始動用に使われている始動リレー（起動用電気部品）内のPTC素子（電流を制御する部品）の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2012年（平成24年）4月16日にウェブサイトへ情報掲載を行うとともに、翌17日に新聞社告を行い、対象製品について無償点検及び部品交換を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201800318）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：製品名・ブランド名、機種、製造番号、製造期間、対象台数

製品名・ブランド名	機種	製造番号	製造期間	対象台数		
電気冷蔵庫	シャープブランド	SJ-350JB(-H)	全ての製造番号	1996年12月 ～ 2001年3月	15,600	
		SJ-E35KC(-H)			26,300	
		SJ-EX357(-H)			20,300	
		SJ-EX447(-H)			29,700	
		SJ-V35WB(-H)			3,400	
		SJ-V35WC(-H)			4,500	
		SJ-W358D(-G/-H)			6,500	
		SJ-W359D(-C/-H)			10,200	
		SJ-W35A(-G/-H)			73,380	
		SJ-W35B(-G/-H)			74,920	
		SJ-WA35C(-C/-H)			130,672	
		SJ-WE38A(-G/-H)			68,245	
		SJ-WE44A(-G/-H)			54,300	
		SJ-WH350(-C)			8,400	
		SJ-WH380(-C)			7,900	
		SJ-WJ440(-H)			4,300	
		SJ-WS350(-H)			1,700	
		SJ-E30B(-W)			10010001～10019910	80,600
		SJ-E30B(-C)			20010001～20059210	
		SJ-E30B(-H)			30010001～30031480	
無印良品ブランド	SJ-R35C	SJ-23B(-H)	全ての製造番号	48,780		
		SJ-23D(-C/-R)		60,373		
		SJ-S407(-H)		5,500		
合 計				737,080		

※表中()内は色調コードです。

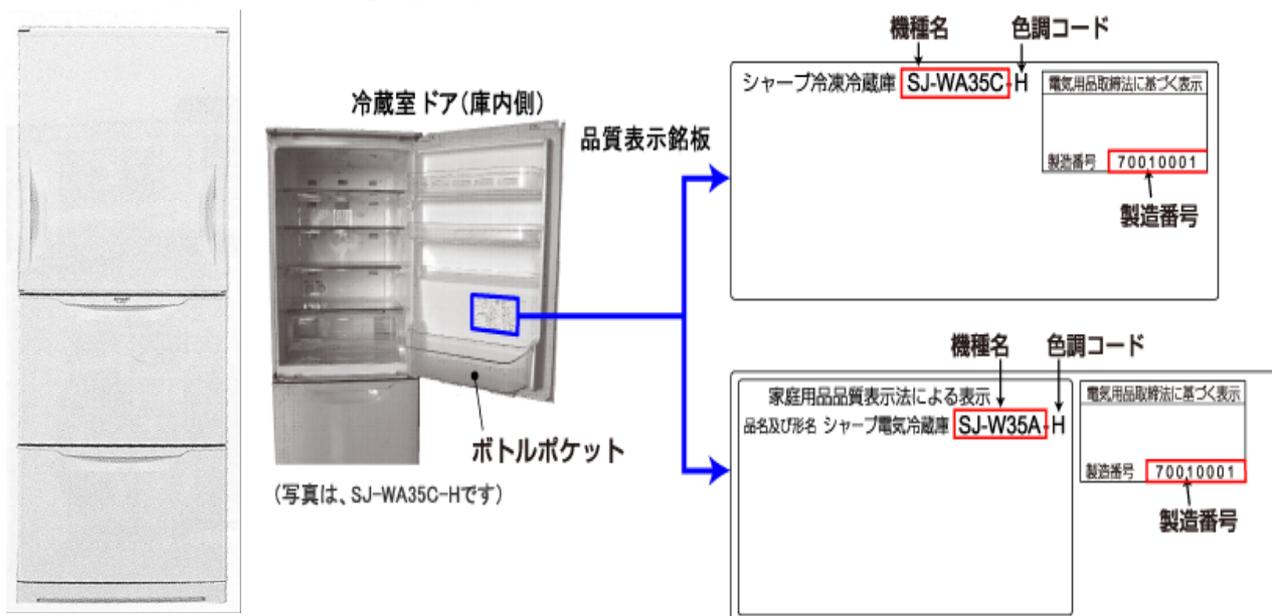
2012年（平成24年）4月16日からリコール（無償点検・部品交換）を実施
改修率：33.4%（2018年7月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201800318）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中でリコール事象かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2018年度	1	火災	2013年度	6	火災
2017年度	4	火災	2012年度	4	火災
2016年度	2	火災	2011年度	2	火災
2015年度	1	火災	2010年度	0	—
2014年度	1	火災			

<対象製品の外観及び確認方法>



注) 冷蔵室ドア（庫内側）に、上図のいずれかの品質表示銘板が貼付されています。

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

シャープ株式会社

電話番号：0120-404-511

受付時間：9時～18時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ウェブサイト：http://www.sharp.co.jp/support/announce/sj_info_120416.html

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：柳川、牧野

電 話：03-3507-9204（直通）

F A X：03-3507-9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：橋爪、高橋

電 話：03-3501-1707（直通）

F A X：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201800320	平成30年8月18日	平成30年8月30日	屋外式(RF式)ガス瞬間湯沸器(LPガス用)	TP-SQ160C-1	高木産業株式会社 (現 パーパス株式会社)	火災	当該製品を使用中、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	埼玉県	製造から25年以上経過した製品

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201800317	平成30年7月24日	平成30年8月30日	扇風機	JF-31A(株式会社全日電チェーンブランド)	三洋電機株式会社 (株式会社全日電チェーンブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	広島県	製造から45年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年8月20日 平成19年8月24日から使用中止等の呼び掛けを実施 (特記事項を参照)
A201800318	平成30年8月18日	平成30年8月30日	電気冷蔵庫	SJ-WA35C	シャープ株式会社	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	平成24年4月16日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:33.4%
A201800319	平成30年8月17日	平成30年8月30日	温水洗浄便座	DV-115A	株式会社INAX(現株式会社LIXIL)	火災	当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201800321	平成30年7月24日	平成30年8月30日	扇風機	TSK-F1202R	燦坤日本電器株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	埼玉県	製造から15年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年8月27日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201800322	平成30年8月20日	平成30年8月30日	冷風機	TK-AC07R	燦坤日本電器株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	千葉県	
A201800325	平成30年8月19日	平成30年8月31日	リチウム蓄電池	ESS-U2M1	ニチコン株式会社	火災	火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	東京都	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201800316	平成30年8月17日	平成30年8月30日	スピーカー(天井埋込式)	重傷1名	店舗で天井に設置されていた当該製品が落下し、負傷した。当該製品の施工状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A201800323	平成30年8月2日	平成30年8月30日	システムキッチン(吊り戸棚)	重傷1名	壁面に設置されていた当該製品が落下し、使用者に当たり、顔を負傷した。当該製品の施工状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年8月20日
A201800324	平成30年8月1日	平成30年8月30日	エアコン	火災 死亡2名	当該製品及び建物1棟を全焼、10棟を類焼する火災が発生し、2名が死亡した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	千葉県	平成30年8月23日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年8月24日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件
該当案件なし

温水洗净便座（管理番号:A201800319）



冷風機（管理番号:A201800322）



リチウム蓄電池（管理番号:A201800325）

